



# 千葉動力車

## 千葉支社 3月ダイ改-合理化を提案 (12/25)

# 幕張の構内融合化を許すな

昨年一二月二五日、千葉支社は、三月ダイ改と「年度末諸施策」に関する労働条件の提案を行なってきた。

提案の内容は、ダイ改事案としては、総武快速の酒々井駅停車、成田エクスプレスの編成増等であるが、合わせて、幕張電車の構内作業の合理化や、木更津支区・千葉運輸区・千葉運輸区の技術管理・計画業務の削減を始め、施設関係の巡回検査周期の延伸や保線区の統廃合などで、施設の▲三六名を始め、四一名の所要員を削減するとう、断じて許すことのできない新たな合理化攻撃である。

### 【提案された主な内容】

- 運転関係
  - \* 構内運転・仕業検査業務の融合化 (幕張電車区)
  - \* 技術管理体制の見直し (木更津支区)
  - \* 計画担当業務の見直し (千葉運輸区・千葉運輸区)
  - \* 乗務行路の見直し (成田車掌区)
- 営業関係
  - \* プール要員配置箇所の見直し (新木場・新浦安・蘇我・大網・茂原・大原・勝浦・鴨川・八幡宿・五井・木更津・君津・成田・湖北・佐原)
  - \* びゅープラザ海浜幕張新設
- 施設関係
  - \* 線路巡回検査周期の延伸
  - \* 保線管理システム2期開発部分の稼働に伴う見直し
  - \* 保線区の統廃合 (佐倉・誉田保線管理室廃止)
  - \* ビルテックへの業務委託拡

大……等。

### ● 電気関係

- \* 信号通信関係の業務見直し
- \* ビルテックへの業務委託拡

## 構内・仕業の融合化 (幕張) 許すな

運転関係で言えば、幕張電車区における構内作業の見直しは、重大な合理化攻撃だ。これは、構内運転業務と仕業検査業務を融合化することによって四名の要員削減を行なうとともに、二〇名の運転業務を車両職に職名変更すると言っているのである。さらに、現在構内・仕業グループが使用している詰所をあげて本庁舎二階に集約するとしている。われわれは、構内運転業務の車両職への置換えについて、断じて認めることはできない。また、本庁舎への業務の集約についても、これは、現在、東日本本社とJR東労組・革マルが裏で話しを進めていると言われている、「構内作業外注化」の先取り的な攻撃であるとも考えられる。現場ではすでに、「現在構内・仕業グループが使用している詰所は車両整備会社に渡す」ということが公然と言われているのだ。

木更津支区での技管の削減や千葉運輸区・千葉支での計画要員の削減も、削減できると睨んだ要員は徹底して削り落とそうという発想に基づくものである。この間明らかになってきたように、

今でさえ、デタラメ、メチャクちな業務運営が当たり前になっている状況の上に、さらに計画業務を削減してしまつたら業務運営は一体どうなるのだろうか。

## またも、線路巡回周期を延伸!

また、施設関係の線路巡回検査の延伸も、安全をさらに解体する断じて許すことのできない攻撃である。列車巡回のひん度を次のように延伸するというのだ。「軌道構造の強化が図られている」というのが理由だが、実際は、表を見ても明らかのように、線路等級が下がるにつけて延長時間が延ばされている。線路の巡回については、すでに徒歩巡回のひん度が延伸されている。そして今度は、列車巡回のひん度も延ばそうというのだ。安全がさらに脅かされるのは明らかである。

等級	現行	改正
一級線	二日毎	三日毎
二級線	二日毎	五日毎
三級線	三日毎	八日毎
四級線	四日毎	一五日毎

## プール要員の「見直し」? (営業)

さらに、営業関係のプール要員の付け替えも、この間プール要員を巡って起きている様々な矛盾・問題を解決するものでは

**97 団結 棋びらきへ**  
1月11日(土) 13時  
労働者福祉センター

【裏面に要員関係等掲載】  
貨物における佐倉機関区廃止阻止の闘いと結合し、三月ダイ改合理化阻止の闘いに全力で起ちあがろう!